

第7章 まとめ

本報告書では、高次脳機能障害者の復職におけるアセスメントをテーマに、高次脳機能障害の障害特性や支援課題に関わる情報の収集・整理、支援課題の明確化や支援方針の検討、対象者の自己理解の促進や事業主との調整など、アセスメントから事業主との調整にいたる一連の支援に関わる支援技法を紹介しました。

熟練した支援者は、アセスメントで得られた多様な情報から、取り組むべき支援課題の見当をつけ、支援方針やその優先順位、関係者間の役割分担などについて見立てを立てる「ケースフォーミュレーション」を頭の中で自然に行っていると思われます。この頭の中の作業を図式化したものが「ケースフォーミュレーションのための情報整理シート」と「ケースフォーミュレーションシート」です。経験の浅い支援者にとっては、ケースフォーミュレーションを実践するためのツールとして、また、ケース会議における関係者間の情報共有や支援方針の検討のための会議資料として有効に機能するものと考えています。

本報告書で紹介した一連の支援技法を活用することによって、高次脳機能障害者の職場復帰や職場適応が促進されることを願います。